行程

祭

(1月) 紅葉の香嵐渓や奥浜名の古刹をめぐる

## 大井川鐵道で南アルプスの山懐へ 日本平ホテルから雄大な富士の絶景

掲載No 東京·大阪発 東京発 6AEK5F20 食事 大阪発 6CEK5F20 朝2、昼2、夕2

▶最少催行人員:10名

早期90日前 3000円割引 名字 1泊目 バス バス びとり





			1	旅行代金(大人おひとり様
出発日	出発地	3人1室	2人1室	1人1室
11月21· 28日	東京発	135,000円	139,000円	159,000円
	大阪発	133,000円	137,000円	157,000円

※東京・大阪の共同募集コースです。添乗員は初日三河安城駅から 最終日静岡駅まで同行します。 ※利用バス会社:浜松バス、遠州 鉄道、大鉄観光バスのいずれか ※部屋タイプ:洋室 ※名古屋発 着、現地合流についてはP59をご参照下さい。 ※写真は全てイメ ※大井川鐵道・本線では、11月21日発はSL (蒸気機 関車)、11月28日発はEL (電気機関車) が牽引します。



→バス ⇒ 航空機 … 徒歩 = 列車 ~ 船

東京 (8:50~10:20発) = 品川 = 新横浜 新大阪 (9:50~11:20発) = 京都 = = 三河安城 名古屋 = 三河安城

→**香嵐渓**(東海随一の紅葉名所、巴川沿いに約4000本のモミジの彩り)→夕刻:オ - クラアクトシティ浜松泊(季節の会席料理夕食)

午前:宿→奥浜名湖・龍潭寺 (井伊家の菩提寺、小掘遠州作の池泉鑑賞式庭園) →方広寺(臨済宗の大本山、紅葉に包まれる重文の伽藍)→森・小國神社(遠州 國一宮、宮川沿いの紅葉)→午後:日本平ホテル泊(雄大な富士を眺められる日本 平ツイン利用、フランス料理フルコースディナー)

午前:宿→新金谷=大井川鐵道・本線 (SLまたはELに乗車)=千頭=南アル プスあぷとライン=接岨峡温泉→〔眼下に奥大井湖上駅の眺め〕→金谷→

静岡=新横浜=品川= 東京 (18:30~20:00着)

静岡=名古屋=京都= 新大阪 (19:30~20:30着)

## 日本平ホテル



日本平ホテルからは三保松原、駿河湾、そして富士の 雄大な絶景を楽しめます。45㎡で広めのお部屋、大き な窓とバルコニー付きの日本平ツインからはその眺め を独り占めです。夕方4時頃に到着、翌朝は10時過ぎの 出発となり、約18時間滞在します。





フルコースディナ の一例



お部屋バルコニーか らの眺め

⋘ おいしさがギュッと詰まった秋の新潟、美食を通じて知る歴史や文化の旅

## うまさぎっしり新潟ガストロノミー 秋色の風景と満喫グルメ旅

掲載No <b>ママ</b>	東京発	6AED5F20	東京·大阪発
		6CED5F20	食事
00	大阪発	6CED5F20	朝2、昼3、夕2

▶最少催行人員:12名









				旅行代金(大人おひとり様
出発日	出発地	3人1室	2人1室	1人1室
11月2・	東京発	133,000円	135,000円	142,000円
7日	大阪発	146.000円	148,000円	155.000円

※東京・大阪との共同募集コースです。添乗員は初日新潟空港または新潟駅から最終日新潟駅または新 潟空港まで同行します。 ※利用バス会社:新潟交通または昭和観光または新潟中央観光バス ※部屋 タイプ 1泊目:洋室 2泊目:洋室または和洋室 ※現地合流についてはP59をご参照下さい。 真は全てイメージです。 ※当日の仕入れ状況によりメニューが変更になる場合がございます。

→バス ⇒ 航空機 … 徒歩 = 列車 ~ 船 ++ その他

東京(10:00~11:00発)= 大宮=新潟 伊丹空港(10:00~11:00発)⇒新潟空港

→新潟すし三昧「極み」昼食→弥彦公園(朱色の観月橋と紅葉が織りなす景色) →彌彦神社 (神秘的な雰囲気の古社参り)→弥彦山ロープウェイ (空中より眼下 新潟平野、日本海を一望) → 夕刻: ホテル日航新潟泊 (夕食は市内料亭 にてノドグロや南蛮エビなどを使った郷土料理を)

午前:宿→今代司 (酒蔵見学と試飲)→瓢湖 (コハクチョウ日本一の飛来地)→阿 賀野川ライン舟下り(日本百景紅葉に彩られる奥阿賀の渓谷美)→皇室へ献上さ れている地元五泉産の里芋「帛乙女」を使った料理ほか和昼食→新発田市・ 市島邸 (紅葉が彩る水池を配した8000余坪の広大な回遊式庭園) → 夕刻: ロイヤル 胎内バークホテル泊(静かで美しい森と湖に面したお洒落な温泉リゾートで寛ぎの ひととき、洋コースタ食)

フラワーパークなどホテル周辺の観光をお楽しみ下さい、希望者は巨木が点在するハイキングコース(約60分)へご案内、10:30頃出発→村上(県内最古の城下町、鮭文化の奥深さを知るイヨボヤ会館、伝統的な町屋を散策、**江戸時代か** ら続く老舗料亭で伝統的な鮭コース料理昼食) → 岩船港鮮魚センター

新潟=大宮=東京(18:30~19:30着) 新潟→新潟空港⇒

伊丹空港 (19:30~20:30着)





新潟すし三昧「極み」

村上 伝統的鮭料理





里芋「帛乙女」を使った料理 弥彦公園の紅葉

新潟は北前船の主要な寄港地であり、幕末には横浜、 神戸などともに開港五港のひとつであり、国内外か ら質の高い文化の流入とともに食文化が発展してき ました。この土地に内包された歴史や文化を尊重し、 表現し、昇華させた料理を楽しむ旅。